

**アオベンケイ** *Hylotelephium viride* (Makino) H. Ohba

**【評価理由】**

個体数階級 4、集団数階級 4、生育環境階級 3、人為圧階級 2、固有性階級 2、総点 15。自然度の高い森林に依存する植物で、愛知県では生育地も個体数も極めて少ない。

**【形態】**

多年生草本。茎は斜上し、高さ 20~50cm になる。葉は対生し、1~1.5cm の柄があり、葉身は卵形で長さ 3~6cm、幅 1.5~4cm、先端は円頭~鈍頭、辺縁には不明瞭な波状の鋸歯がある。花期は 9~10 月、茎の先端に散房状花序をつけ、淡黄緑色の花を半球形に密生してつける。がく片は 3 角形で長さ約 1.5mm、花弁は 5 枚で楕円状倒披針形、長さ約 4.5mm、裂開直前の葯は淡褐色である。

**【分布の概要】**

**【県内の分布】**

西：5 稲武 (小林 40047, 1992-10-7)。1 カ所に少数の個体が生育していたが、最近の状況は確認されていない。

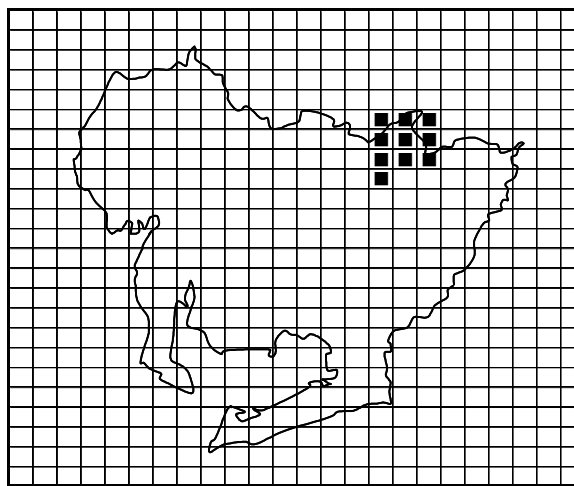
**【国内の分布】**

本州 (中部地方以西)、四国、九州。

**【世界の分布】**

日本固有種。

要配慮地区図



**【生育地の環境／生態的特性】**

深山の落葉広葉樹林の、老木の樹上に着生する。岩上に生育することもある。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林	○			
草・岩				
湿地				
水域				

**【現在の生育状況／減少の要因】**

個体数は少なく、発育状態もあまりよくなかった。森林が衰退すれば絶滅する可能性が高い。

**【保全上の留意点】**

本種が生育できるような自然度の高い森林は、愛知県ではわずかに残存するだけであり、現在残っている林は嚴重に保全する必要がある。園芸目的の採取を防止するため、分布情報の公表に際し慎重な配慮が必要である。

**【特記事項】**

ベンケイソウ類の中では数少ない、着生性の種である。

**【関連文献】**

保草本Ⅱ p.163, 平草本Ⅱ p.151, 平新版 2 p.217, SOS 旧版 p.55.